

応用物理学会第72回春季学術講演会
一般公開シンポジウム



音と応用物理のコラボレーション

「音」には音声、聴音、騒音、さらには聞こえない音（超音波）など様々な種類があります。日本音響学会にもご協力いただき、様々な「音」に関する講演からなるシンポジウムを企画しました。「音」に関するシンポジウムに是非御参加ください。

開催日時 3月16日(日)
10:00~12:05, 13:30~15:45

講演プログラム

午前の部

1. オープニング 近藤 淳(静岡大学)
2. 光と音の相互作用に基づく計測技術 中村 健太郎(東京科学大学)
3. 深層学習に基づく音声処理 伊藤 彰則(東北大学)
4. 球面調和関数展開を用いたリアルタイム音場合成 羽田 陽一(電気通信大学)
5. ヴァイオリン演奏に関する科学 – ヴァイオリンは物理の玉手箱 – 松谷 晃宏(東京科学大学)

午後の部

1. 小型ヘルムホルツ共鳴器の集合体による音響メタサーフェスの広帯域吸音 中西 伸介(広島工業大学)
2. 熱音響システムのこれまでとこれから2025 坂本 眞一(滋賀県立大学)
3. GHz帯超音波パルスエコー法を用いたScAlN、ZnO、GaN圧電薄膜や金属膜の機械的Qm値評価手法 島野 耀康(早稲田大学)
4. 移動通信システム用弾性波デバイスの高性能化 垣尾 省司(山梨大学)
5. 超音波で骨の劣化を評価できるか？ 松川 真美(同志社大学)